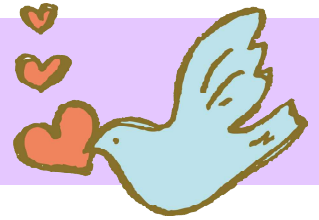


今月のピックアップ

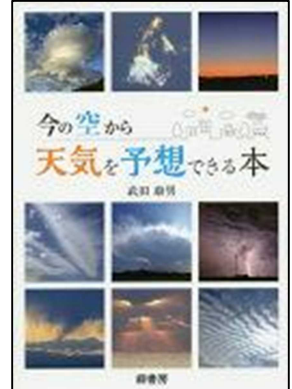


雨にまつわる本



『今の空から天気を
予想できる本』 451円

武田康男/著 緑書房

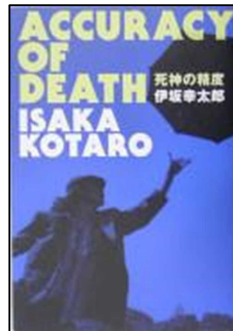


いつも雨に降られる
死神の物語

『雨の事典 空と海と大地をつなぐ』

レインドロップス/著 北斗出版 451円

雨についての歌、文学、言葉、映画、絵画、雨と人々の暮らしとのかかわり、雨のもたらす気象、雨と生きもの、雨水利用のあれこれなど、雨を軸にさまざまなテーマの話を展開する。



『死神の精度』 913円

伊坂幸太郎/著 文藝春秋

「俺が仕事をするといつも降るんだ」クールでちょっとズレてる死神が出会った6つの物語。音楽を愛する死神の前で繰り広げられる人間模様。『オール讀物』等掲載を単行本化。

6月15日は千葉県民の日

1873(明治6)年のこの日、印旛県と木更津県が合併し、初めて千葉県の名称が使われたことにちなんで制定されました



『地図で楽しむすばい
千葉』 S291円

都道府県研究会/著 洋泉社



『新発見! 千葉
歩きたくなるふるさと
20の物語』 S291円

千葉まち歩き倶楽部/編
洋泉社

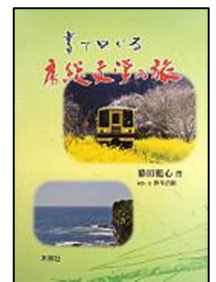
『CHIBA 千葉 チ～バ
叫びたいほど面白い千葉
の話 160』 291円

小和田哲男・山本博文/監修
洋泉社



『書でめぐる房総文学
の旅』 S728円

幕田魁心/書
笹生浩樹/写真・文 木耳社



このほか、千葉県についての本は図書館奥の「郷土行政資料コーナー」に集めています。